

科目区分	専門基礎分野	科目名	公衆衛生学	対象学生	第3学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学期	第1学期
担当講師	院外講師				
科目目標	<p>1. 公衆衛生の概念と包括的保健医療福祉の考え方および基本的な内容を理解できる。</p> <p>2. 多要因から成る健康の成り立ちを生活レベルから理解し、人々の健康生活の保持増進や疾病の予防、医療・福祉のために考え、行動できるように、考え方や知識を習得する。</p>				
授業計画	<p>第1回 公衆衛生(学)の定義、公衆衛生の倫理、健康の概念、健康(病気)の成り立ち (講義)</p> <p>第2回 疫学、疫学的因果関係の推定、疫学的考え方、アプローチ、多要因疾病観、臨床疫学とエビデンス (講義)</p> <p>第3回 人口・保健統計、健康水準の測定、疫学指標(出生率、死亡率など) (講義)</p> <p>第4回 保健行政、組織、国・地方自治体、保健所、地域保健法、衛生法規 (講義)</p> <p>第5回 保健医療制度、地域保健医療計画、保健医療と福祉・社会保障 (講義)</p> <p>第6回 母子保健、主な施策、現状、問題点とその要因、学校保健 (講義)</p> <p>第7回 成人保健、生活習慣病(がんなど)、現状と動向、予防と対策 (講義)</p> <p>第8回 高齢者保健、高齢化社会、高齢者問題、高齢者福祉、介護保険 (講義)</p> <p>第9回 感染症・予防対策、食品衛生、食中毒の予防、国民栄養、精神保健 (講義)</p> <p>第10回 保健習慣、一次・二次・三次予防(ポピュレーションアプローチ・ハイリスクアプローチ)、包括的保健医療福祉 (講義)</p> <p>第11回 産業保健、働く環境と健康(作業環境管理)、労働基準法、労働安全衛生法 (講義)</p> <p>第12回 職業病とその予防、作業関連疾患、健康管理、健康づくり(THP)ワーク・ライフ・バランス (講義)</p> <p>第13回 環境保健、人間-環境系、生態系、大気(空気)、水、住居、バリアフリー、廃棄物 (講義)</p> <p>第14回 化学物質と健康、環境基本法、公害と健康被害の補償、地球環境問題 (講義)</p> <p>第15回 終了試験</p>				
評価方法	筆記試験、小テスト				
テキスト	わかりやすい公衆衛生学(ヌーヴェルヒロカワ)				
講師からのメッセージ	公衆衛生学は極めて包括的、学際的かつ集学的な学問体系であるため、関連した諸科学の学習が重要である。また、公衆衛生学には医学・医療の社会的適用という側面があるため、日頃から総合性、社会性、現実性、即時性を養うよう心がけることが望まれる。国家試験出題基準を確認し学習すること。				